

しまねの観光振興について

提 言 書

平成26年12月

自由民主党島根県議会議員連盟

しまねの観光振興に関する 観光振興検討部会 政策提言

I はじめに

観光は、第一次産業・第二次産業から第三次産業までが関わるすそ野の広い産業であり、観光消費による経済波及効果や雇用の創出効果が大きい産業である。

国では、観光立国推進に向けた施策を展開しており、特にインバウンド市場の拡大については、成長戦略の一つとして、2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに2,000万人、2030年までに3,000万人という目標を掲げている。

また、観光振興の取り組みは、地域資源の活用を通じて、県民自らが、古くから伝わる地域の歴史・文化や豊かな自然など郷土の素晴らしさを再認識し、ふるさとを誇りに思う気持ちの醸成にもつながるものである。

昨今、少子高齢化の進行に伴い、人口減少問題がクローズアップされているが、観光振興は、交流人口の増加を担う対策としても重要性が増している。

こうしたことから、観光を今後の成長産業の一つとして捉え、地域活性化に向けて、官民一体となった観光振興の取り組みを積極的に進める必要がある。

II 島根の観光の現状・課題

出雲大社の大遷宮の効果や「神々の国しまね」プロジェクトの取り組みなどにより、島根への全国的な関心が高まるとともに、県民の郷土への誇りや観光客を温かく迎える「おもてなし」の気運が盛り上がってきた。

こうした動きをさらに広げていくため、昨年7月からは、首都圏の20代から40代の女性をターゲットとした「ご縁の国しまね」キャンペーンを開始し、今年度は、さらに強化している。

こうしたなか、去年の宿泊客延人数は、県全体で、対前年11.2%増加し、特に出雲地域は15.2%と大きく伸びている。今年に入ってもその勢いは続いており、今後とも、「神々」や「ご縁」といった島根のイメージを国内外に定着・拡充させ、島根の観光の勢いをより長く継続させていく必要がある。

一方、石見・隠岐地域の昨年の宿泊客延数は、対前年それぞれ2.6%、7.7%減少しており、両地域の誘客対策は大きな課題である。

石見地域については、県や市町等では、石見神楽の活用や石見キャンペーンなどにより、誘客対策に取り組んできたが、多様化する観光客のニーズに十分対応しきれていない状況にある。

石見地域の活性化を図るためには、観光振興の取り組みがますます重要になると考えられる。様々な体験メニューづくりや、温泉、食などの地域資源の活用を進め、石見観光の幅を広げるとともに、行政や観光関係者等が広域連携した誘客策を強化していく必要がある。

また、東京線2便化が実現した萩・石見空港の活用の面からも、新大河ドラマ放映の好機を活かして、山口県との連携強化を進めていく必要がある。

隠岐地域では、観光を地域経済の柱として、交流人口の拡大に向けた取り組みが続けられているが、観光客は長期的に見ると減少傾向にある。

こうした中、隠岐世界ジオパークが世界認定から1周年を迎え、改めて今後どのように世界ジオパークを観光振興や地域振興に結びつけていくかが課題となっている。

県や町村等では、10月に検討会議を設置し、観光や地域振興面での活用策の検討を進めているが、食の充実や様々なサービス向上をはじめ、旅行商品の充実、ジオパークの魅力をわかりやすく伝える方策などに、着実に取り組んでいく必要がある。

また、インバウンドについては、島根県においても、韓国、台湾など東アジアからの宿泊客や境港へのクルーズ客船で訪れる外国人観光客が増加しつつあるが、観光庁の統計によると、外国人宿泊者数は、全国最下位に留まっている。消費意欲が旺盛な外国人観光客を呼び込み、地域経済を活性化させるためにも、急成長する東アジアを筆頭にインバウンド観光を強く押し進めていく必要がある。

中国地方では、広島空港の台湾路線増便やタイからのチャーター便の運航、

地方空港へのLCC（格安航空会社）の新規就航、尾道松江線など高速道路網の整備により、交通の利便性が向上しつつある。

一方で、訪日外国人は、依然として、東京～大阪のゴールデンルートに集中していることから、中国5県が連携したプロモーションなどを一層強化していく必要がある。

また、JR西日本では、2017年春の運行開始を目指して、新たな寝台列車の導入が計画されている。山陰も運行する予定となっており、島根の魅力の国内外への発信につながっていくことが期待されている。今後、観光素材の掘り起こしや受入体制の整備など、JR西日本と連携して準備を進めていく必要がある。

今後、観光市場の変化にも的確に対応しながら、外国人観光客の誘客対策の強化や、「しまね」ならではの素材を活かした地域の魅力アップ、「ご縁」や「神々」といったキーワードによるさらなる情報発信など、切れ目のない取り組みを推し進めていくことが重要である。

「しまね観光立県条例」に掲げる、行政と県民との協働による観光立県「しまね」の実現に向けて、次の点について提言を行う。

Ⅲ 政策提言

【重点項目】

（1）外国人観光客の誘致の促進について

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、誘客目標を設定し、国別の市場動向や外国人のニーズを的確に把握した上で、戦略的な誘客を推進すること。

<プロモーションの強化>

- 東アジアや欧米に加えて、訪日外国人の増加が最も期待されるタイなど東南アジアからの誘客に向けた取り組みを強化すること。
- 関西、九州や中国地方の国際定期路線を利用した訪日外国人の周遊策や、海外プロモーションを中国5県や民間事業者などと連携して推進する

こと。

- 島根の強みや魅力を活かし、トレッキング、スキー、サイクリングなど、外国人のニーズに合った体験メニューの充実を図り、新たな旅行需要の開拓を推進すること。
- 鳥取県と連携し、クルーズ客船の誘致を促進すること。
- 東京オリンピック・パラリンピックに向けた合宿誘致などの取り組みを推進すること。

<受入態勢の整備>

- 観光関係施設での公衆無線LANや外国語表示に対応した案内表示などの環境整備、免税店制度の普及、通訳ガイドの育成など官民連携した受け入れ態勢の整備を促進すること。
- 市町村や観光事業者のインバウンド観光の取り組みが拡充するよう支援すること。

(2) 「しまね」ならではの素材を活かした地域の魅力アップについて

地域資源を活用した観光地や観光商品づくりを推進するとともに、石見地域や隠岐地域への誘客対策を強化すること。

<県全体>

- 「ご縁」や「神々」、「石見神楽」、「世界遺産」、「ジオパーク」など県内各地の資源を活用した観光地づくりを推進すること。
- 地元で採れる食材を使った料理の提供や食の開発など、地域資源を活用した「食」の魅力アップを推進すること。
- 貸切バスの交代運転手の配置基準の厳格化や新たな運賃・料金制度の導入などにより、本県の観光客のかなりの割合を占めるバスツアーの減少が懸念されることから、その対策を講じること。
- 新たな寝台列車の運行に向けて、新たな観光資源の発掘や受入体制の整備などの取り組みを推進すること。

<石見地域>

- 石見地域の情報発信を強化するとともに、石見神楽に加えて、食や温泉の活用や、サイクリングなど滞在・体験型の観光メニューの開発などに

より、リピーターの増加や宿泊客の確保を推進していくこと。

○新大河ドラマ「花燃ゆ」の放映を機とした誘客対策を山口県などと連携して推進すること。

<隠岐地域>

○隠岐世界ジオパークを活用した誘客の取り組みを推進すること。

○隠岐ならではの素材を活用した商品づくりや観光関係施設などでのおもてなしなど、観光客の満足度を向上させる取り組みを推進すること。

(3) 観光地づくりに取り組む人材の育成について

地域の観光地づくりを担う市町村や市町村観光協会などの機能強化を図るとともに、宿泊・観光施設等民間事業者の経営力向上や人材の育成を支援していくこと。

【その他項目】

(1) 「しまね」の魅力発信の強化

「ご縁」や「神々」といったキーワードにより、島根県独自の魅力を、様々なメディアを活用して、国内外に向け強力に情報発信すること。

施策の実施にあたっては、特に以下の点について考慮すること。

- ・ターゲットや市場を明確にした情報発信
- ・尾道松江線の全線開通を捉えた山陽・四国方面などへの情報発信の強化
- ・「たたら侍」など島根を舞台とする映画の活用
- ・他県と連携した「古代歴史文化」をテーマとした情報発信

(2) 観光客の視点に立ったおもてなしの向上

観光客のニーズを的確に把握し、満足度を高めていくため、観光関係者や行政だけでなく県民参加により、観光客を温かい心で迎える“おもてなし”活動を推進すること。

(3) MICEの誘致・開催の促進

MICE（注）は、多くの集客・交流が見込まれるビジネスイベントであるため、関係部局の連携により、企業等が行う会議や研修旅行・国際会議等の誘致や、開催の支援を積極的に推進すること。

また、魅力ある周遊ルートの提案などにより、延泊や訪問する観光地の拡大につなげていくこと。

注) MICE

Meeting	企業等の会議
Incentive	企業等が行う報奨・研修旅行
Convention	団体、学会等が主催する総会、学会会議等
Event/Exhibition	イベント、展示会

(4) ホテル・旅館等の耐震改修への支援

「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、耐震診断が義務づけられたホテル・旅館等の建築物の耐震改修への補助制度を拡充すること。

平成26年12月16日

自由民主党島根県議会議員連盟

会 長 洲 浜 繁 達

同政策審議会

会 長 中 村 芳 信

同政策審議会観光振興検討部会

部会長 園 山 繁

島根県知事 溝 口 善 兵 衛 様